

# 近藤岳×中嶋俊晴

## ジョイントコンサート

新春に輝く  
オルガンとカウンターテナーの  
たえ  
妙なる響き

オルガン  
近藤 岳

カウンターテナー  
中嶋 俊晴

Takeshi Kondo  
Toshiharu Nakajima  
Joint Concert

撮影:文芸セミナー

2023 **1.29** 日 14:00開演 (13:30開場)

Sunday January 29, 2023 at 2:00 p.m. Parnassus Hall, Himeji  
Tickets: Adult ¥2,000 / Elementary-High School Student ¥1,000

パルナソスホール  
Parnassus-Hall  
姫路市立姫路高等学校音楽ホール

無料シャトル便運行 (主催公演に限る)  
生涯学習大学校駐車場 ⇄ ホール

入場料 | 一般: 2,000円 高校生以下: 1,000円 **全席指定**

【チケット発売開始】10月20日④ / 友の会会員: 10月18日④

プレイガイド	パルナソスホール	079-297-1141	・チケット販売時間は10:00~17:00
	姫路キャスパホール	079-284-5806	(発売初日の電話予約は11:00より)
	ローソンチケット	Lコード: 53160	・ローソンチケットは別途手数料等がかかります。

### Program

- J.S.バッハ: 前奏曲とフーガ ハ長調 BWV545  
*Johann Sebastian Bach: Prelude and Fugue in C major BWV545*
- アイルランド民謡 (近藤岳 編曲): ロンドンデリーの歌  
*Irish Folk Songs: Londonderry Air*
- A.コープランド: 《古いアメリカの歌》より「遠い昔」  
*Aaron Copland: Long Time Ago 《Old American Songs》 ほか*

### お願い

※就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。  
※公演の内容が一部変更になる場合もございます。予めご了承ください。  
※客席内での写真撮影・録音・録画は、固くお断りいたします。



## 演奏会によせて

この度、新春の姫路に伺う機会に恵まれ、今からとても楽しみにしています。いつも新幹線の車窓から東の間に見える姫路城を「あっ!」と声をあげて眺めていたものの、実はこれまでに仕事でもプライベートでも姫路に降り立つことがありませんでした。この度、光栄にも出演のお声がけをいただき、念願の姫路来訪に胸を躍らせながら、初めて伺うその時を待ち遠しく思っているところです。

今回のコンサートでは、ホール正面の大オルガンに加えて舞台上のポジティブオルガンも演奏する予定ですが、長くヨーロッパで研鑽を積み、国内外で大活躍されているカウンターテナーの中嶋俊晴さんをゲストにお迎えします。彼の素晴らしい歌声とのアンサンブルを交え、時代や国を越えたさまざまな作曲家の作品がラインナップしますので、どうぞご期待ください!

皆さまとホールでお会いできるのを心より楽しみにしております!

オルガニスト 近藤 岳

### 近藤 岳

Takeshi Kondo (オルガン)

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。同大学別科オルガン科修了。同大学大学院修士課程音楽研究科(オルガン)修了。

2006年文化庁新進芸術家海外研修員としてフランス(パリ)に留学。

2004年7月ミューザ川崎シンフォニーホールのオープン当初から18年3月末までホールオルガニストを務めた。

現在、東京藝術大学非常勤講師(オルガン)、および国立音楽大学非常勤講師(作曲理論)。(一社)日本オルガニスト協会会員。2022年4月より横浜みなとみらいホール・第2代ホールオルガニストに就任。



### 中嶋 俊晴

Toshiharu Nakajima (カウンターテナー)

京都市立芸術大学卒業。東京藝術大学大学院修士課程修了。ウィーン国立音楽大学大学院リート・オラトリオ専修、アムステルダム音楽院修士課程バロック声楽専攻を共に満場一致の最優秀栄誉賞付きにて修了。

これまでにJ.van Veldhoven、E.L. Banzo、A.van der Spoel、C. Meierら欧州を代表する音楽家と度々共演を重ねている。日本音楽コンクール、ブラームス国際コンクール、国際ペティレック現代歌曲コンクール、友愛ドイツ歌曲コンクール等で入選入賞を果たし歌曲の分野でも高く評価された。五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。野村財団海外留学助成者、RMF奨学生、文化庁新進芸術家海外研修員として欧州各地で研鑽を積んだ。



### パルナソスホールのパイプオルガン Parnassus Hall Pipe Organ

ストップ数 41  
パイプ総数 2493本  
設置 平成2年(1990年)11月

ホールのシンボリック存在の「楽器の女王」、パイプオルガン。

オルガンは建物にあわせて設計され、一台一台手作りで製作するため、同じ楽器はひとつとしてこの世に存在しません。

パルナソスホールのオルガンは、開館から約1年後の平成2年(1990年)11月に、姫路市立姫路高等学校創立50周年を記念し、同窓会で結成する「鷺城会」により寄贈されました。年間を通じてパイプオルガンの演奏会や講座を開催し皆様に親しまれています。

須藤オルガン工房によって作られた41種類のストップ(音栓)、約2500本のパイプをもつオルガンの多彩で荘厳な響きを、ぜひホールへ聴きにいらしてください。



新型コロナウイルス感染予防対策にご理解、ご協力をお願い申し上げます

ご来場前にウェブサイト掲載情報をご確認ください。  
<https://parnassushall.himeji-culture.jp>



おことわり  
感染の再拡大等により、公演中止や座席配置、内容等が変更になる場合がございます。